

# 第1章

## プレゼンテーション

### 学習目標

- (1) プレゼンテーションを理解する.
- (2) スライドの作成方法を習得する.
- (3) アニメーション効果の設定方法を習得する.
- (4) 表, SmartArt, グラフの挿入方法を習得する.
- (5) リハーサル機能を習得する.

本章は、専修大学経営学部の大曾根匡の著作（2014年8月18日作成，2015年8月10日改訂）である。

# 1 プレゼンテーションとは

プレゼンテーションとは、自分の意見や主張、アイデアなどを人前で発表することです。どんなに素晴らしいアイデアを思いついても、どんなに素晴らしい研究成果を得ても、それを相手にうまく伝達できなければ、それは良いアイデアや良い研究成果とは聞き手に認識されません。すなわち、プレゼンテーションの良し悪しで、そのアイデアや研究成果の良し悪しを判断されてしまったり、印象づけられてしまったりすることが少なくありません。このような理由で、わかりやすく説得力のあるプレゼンテーションの技能を身につけておくことは大切です。

プレゼンテーションの場面として、製品発表会、企画会議、面談、面接、研究発表会、講義など、いろいろな場面があります。そして、その場面や目的、聞き手の数や立場、プレゼンテーションの時間などを考慮して、プレゼンテーションを行う必要があります。

プレゼンテーションでは、限られた時間内で、アイデアや成果を聞き手にわかりやすく伝達し、聞き手を説得することが求められます。そのために、言葉だけの説明だけではなく、視覚を通して説明する方法が有効です。それを実現するツールのひとつに電子スライドがあります。これは、パソコンの画面上に表示されているスライドをプロジェクタで投影して発表を行う方法です。その電子スライドを作成したり実演したりするための代表的なソフトウェアとして、**MS-PowerPoint** があります。本章では、そのプレゼンテーション用ソフトウェアを用いて、電子スライドの作成方法を学んでいきましょう。

## 2 スライドの作成

### 2.1 題材とするコンテンツ

本節では、厚生労働省の推進する「健康日本 21」運動を題材として、スライドを作成します。そのコンテンツは下記の通りです。

(1) タイトルと発表者

- タイトル：健康日本 21 運動 第 2 次指針
- 発表者：厚生労働省

(2) 健康日本 21 運動とは

- 21 世紀の健康増進を図るための運動
  - ◇第 1 次：2000 年制定
  - ◇第 2 次：2013 年制定
- 第 2 次の指針
  - ◇健康寿命の延伸
  - ◇生活習慣病の発症予防
  - ◇社会生活を営むために必要な機能の向上
  - ◇健康に関する目標

(3) 健康寿命の延伸

●健康寿命とは

◇日常的に自立した生活ができる生存期間

●健康寿命の目標（2010年→2022年）

◇男性：70.42歳→79.55歳（9.13歳の延伸）

◇女性：73.62→86.30歳（12.68歳の延伸）

(4) 生活習慣病に関する目標

●がん：75歳未満の死亡率（10万人当たり）

◇現状（2010年）→目標（2022年）

◆84.3人→73.9人

●循環器疾患：脳血管疾患の死亡率（10万人当たり）

◇現状（2010年）→目標（2022年）

◆男性：49.5人→41.6人

◆女性：26.9人→24.7人

●糖尿病：発症数

◇現状（2010年）→目標（2022年）

◆16,247人→15,000人

(5) 社会生活を営むために必要な機能の向上

●こころの健康

◇心理的苦痛を感じている者の割合の減少

◇メンタルヘルスを受けられる職場の割合の増加

●次世代の健康

◇健康な生活習慣

◇適正体重の子供の増加

●高齢者の健康

◇介護保険サービス利用者の増加の抑制

◇高齢者の社会参加の促進

(6) 受動喫煙に関する目標

●現状（2010年）→目標（2022年）

◇行政機関：16.9%→0%

◇医療機関：13.3%→0%

◇職場：64%→0%

◇家庭：10.7%→3%

◇飲食店：50.1%→15%

## (7) 飲酒に関する目標

- 過剰飲酒：純アルコール摂取量
  - ◇ 男性：40g 以上/日
  - ◇ 女性：20g 以上/日
- 現状（2010年）→目標（2022年）
  - ◇ 男性：15.3%→13.0%
  - ◇ 女性：7.5%→6.4%

## (8) 運動の推進に向けて

- 地方自治体における取組の推進
  - ◇ 国の役割
  - ◇ 都道府県の役割
  - ◇ 市町村の役割
- 多様な分野における連携
  - ◇ 企業
  - ◇ 保険組合
  - ◇ 医療機関
  - ◇ マスメディア

## 2.2 コンテンツの入力

### ■スライド作成ソフトウェア PowerPoint の起動

- (1) **スタート画面** またはタスクバーの → **PowerPoint2013**
- (2) 図 1 のような初期画面が表示されます。

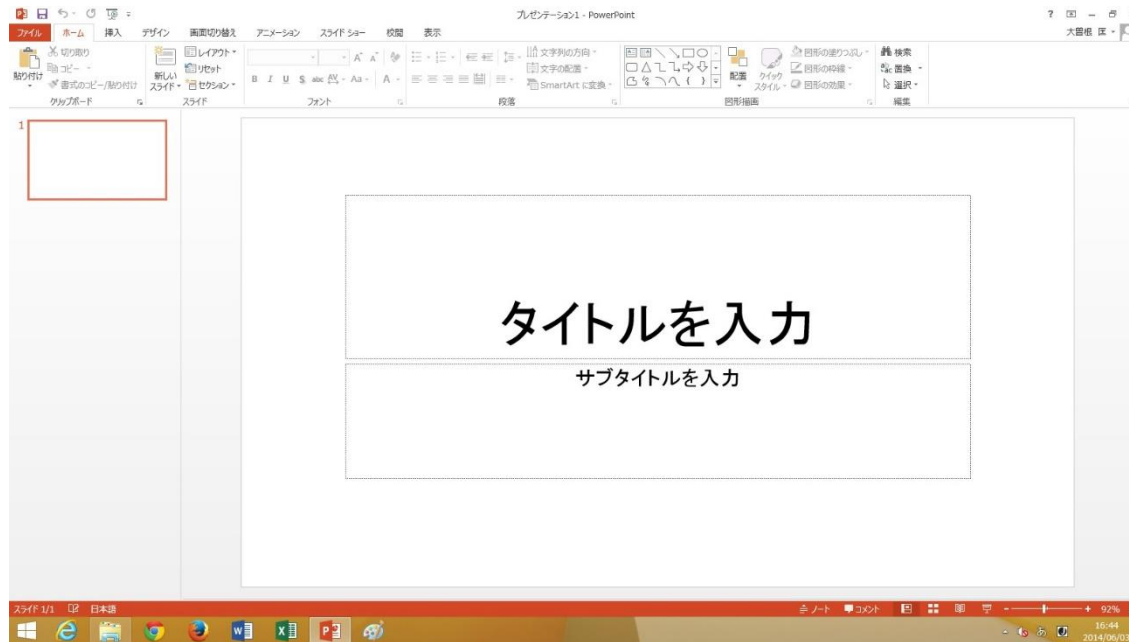


図 1 初期画面

## ■ タイトルスライドの入力

- (1) 「タイトルを入力」の欄に表題，ここでは図2のように，「健康日本21運動 第2次指針」を入力します。
- (2) 「サブタイトルを入力」の欄に，発表者の情報，「厚生労働省」を入力します。
- (3) **上書き保存** ボタンをクリックし，保存するフォルダやファイル名を指定して保存します。

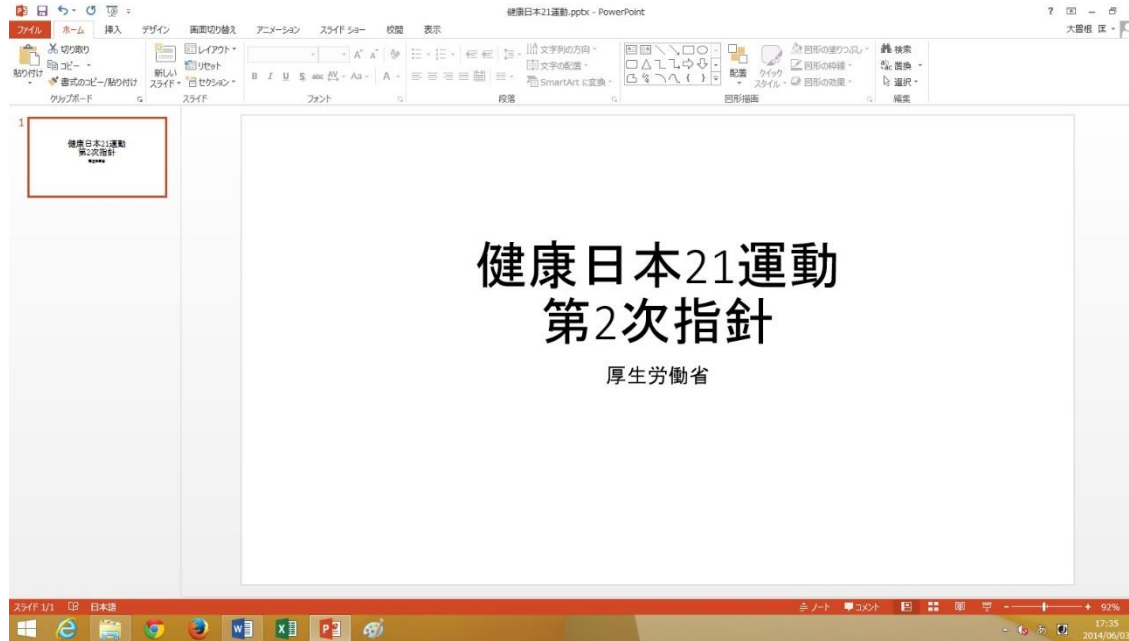


図2 タイトルの入力



## ■テキストコンテンツの入力

- (1) ホームタブのスライドグループの **新しいスライド** ボタンの▼をクリックします.すると,図3のように,いろいろなレイアウトが選択できるメニューが出現するので,ここでは **タイトルとコンテンツ** を選択します.スライドのレイアウトは **レイアウト** ボタンを選択することにより,いつでも変更することができます.

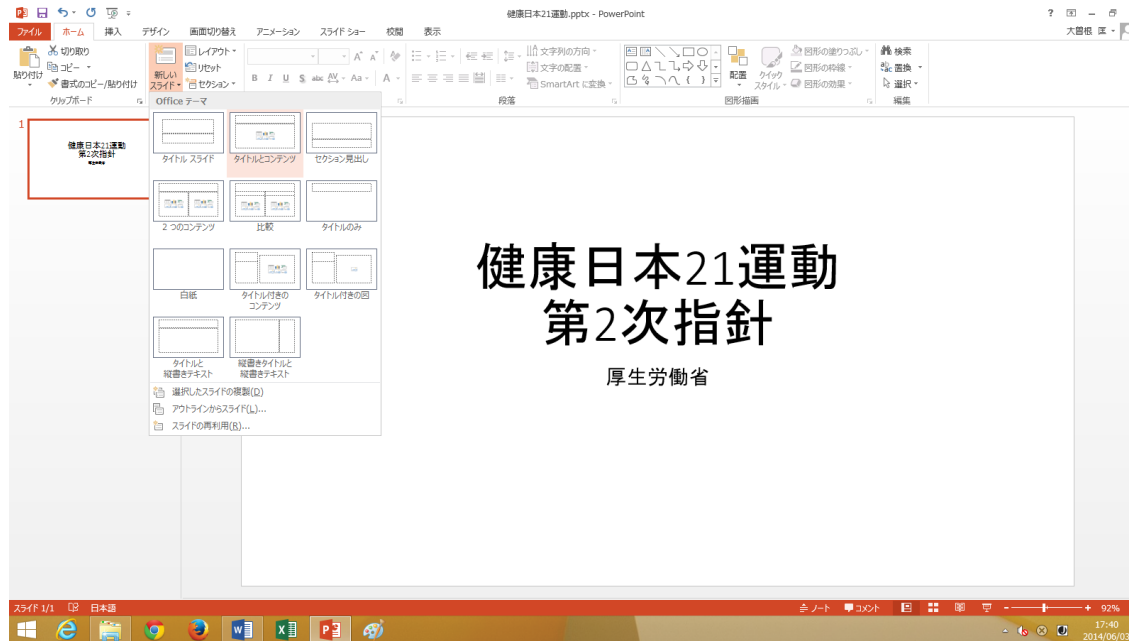


図3 テキストコンテンツの入力

(2) 図4のようなコンテンツを入力するための画面において、テキストコンテンツを入力します。ここでは、2.1の題材コンテンツのうち、(2)健康日本21とは、(3)健康寿命の延伸、(8)運動の推進に向けて、を入力します。この際、テキストの行頭に箇条書きの印(●)が表示されますが、行頭の印は段落グループの「箇条書き」ボタンをクリックすると、図5のようなメニューが出てくるので、それを利用して変更することができます。

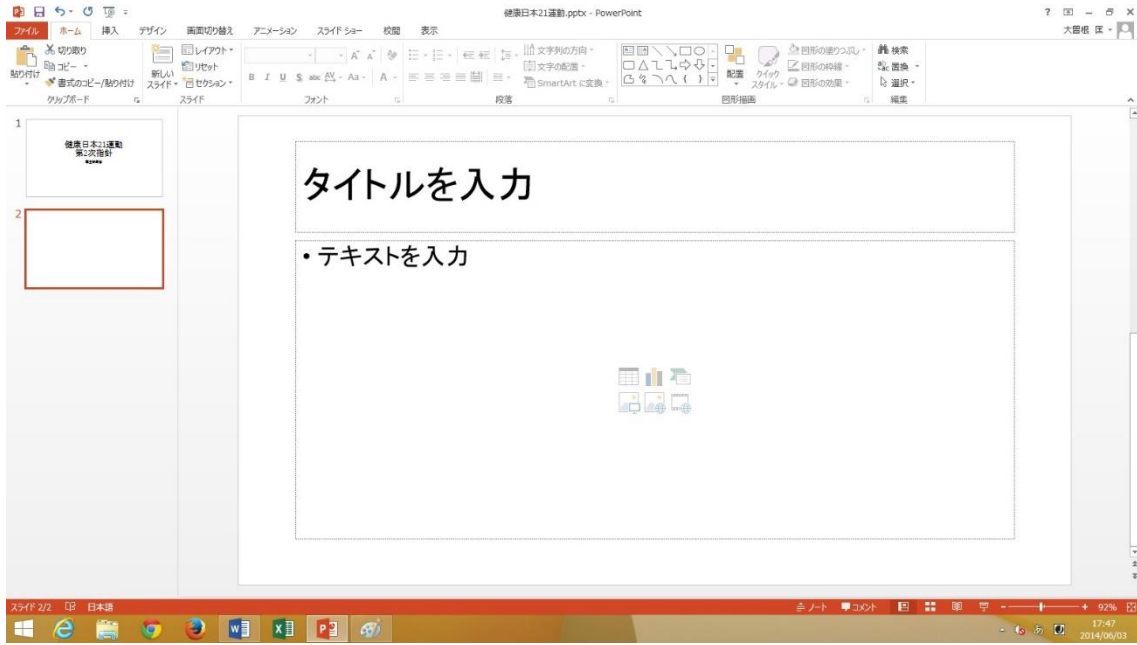


図4 コンテンツ入力画面

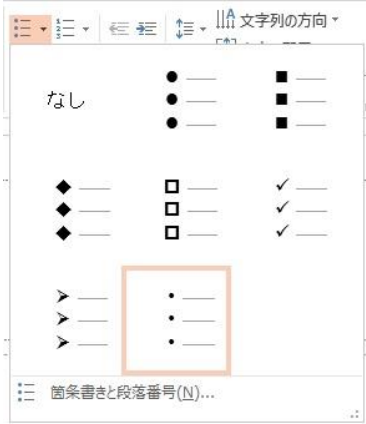


図5 行頭文字の選択

- (3) テキストコンテンツにおいては、箇条書きレベルの上げ下げが大切です。キーボードの **Tab** キーを押すか、段落グループの **インデントを増やす** ボタンをクリックすると、箇条書きの印の表示レベルが1段階上がり、フォントサイズも小さくなります。
- (4) 逆に、キーボードから **Shift** キー + **Tab** キーの操作をするか、段落グループの **インデントを減らす** ボタンをクリックすると、箇条書きの印の表示レベルが1段階下がり、フォントサイズも大きくなります。
- (5) 最終的に、図6のような箇条書きのテキストコンテンツを作成しましょう。



図6 箇条書きテキストコンテンツの入力

■イラストの挿入

視覚化するために、関連するイラストをスライドに挿入してみましょう。ここでは、「健康日本 21 とは」のスライドに「スポーツ」関連のイラスト、「運動の推進に向けての」スライドに「日本」、「企業」、「医療」、「新聞」関連のイラストを挿入してみます。

- (1) 挿入タブの画像グループの **オンライン画像** ボタンをクリックし、図 7 のような画像の挿入ダイアログボックスを表示します。
- (2) Bing イメージ検索のテキストボックスにキーワードを入力し、Enter キーを押します。
- (3) 挿入したいイラストを選択し、**挿入** ボタンをクリックします (図 8)。
- (4) イラストの大きさや配置を適当に変えます。

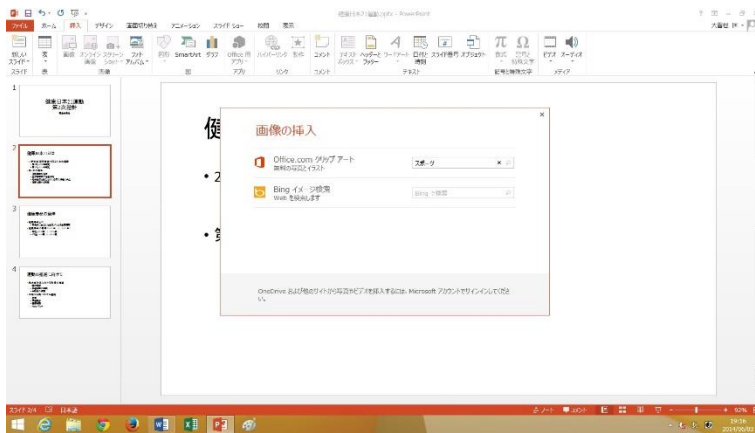


図 7 画像の挿入

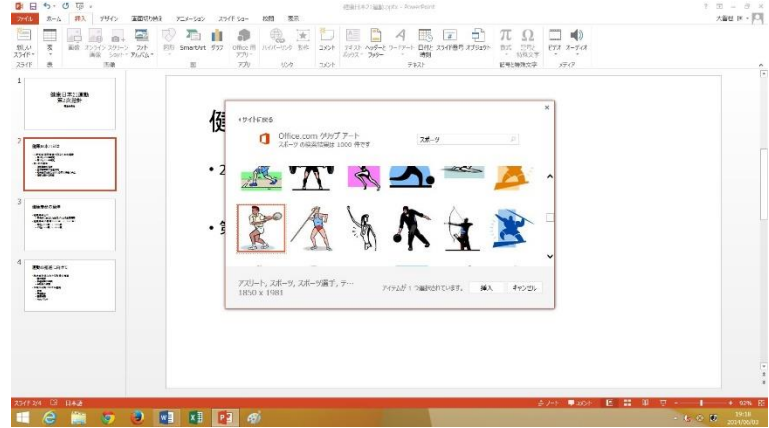


図 8 イラストの選択

## ■図形の挿入

図形を使って大切な項目を強調してみよう．ここでは，図形として「角丸四角形」を用い，そのなかに強調したいテキストを挿入します．

- (1) 挿入タブの画像グループの **図形** ボタンをクリックし，図9のような図形のメニューを表示します．
- (2) 「四角形」グループの中の「角丸四角形」を選択し，スライド上でドラッグしながら図形を描画します．
- (3) 図形上で右ボタンをクリックし，図10のようなショートカットメニューを表示させ，「テキストの挿入」を選択します．

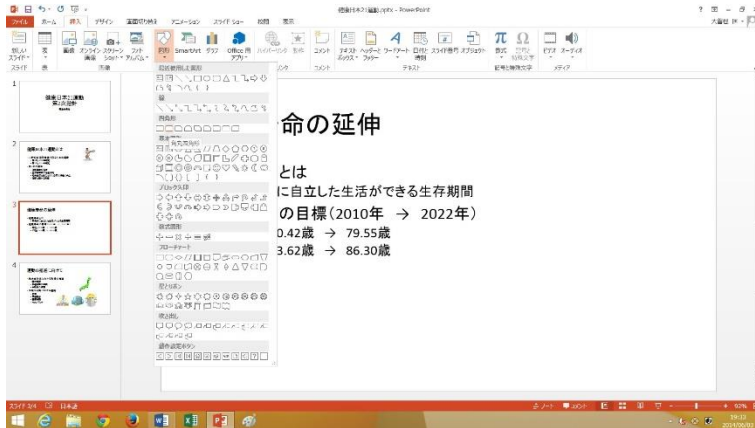


図9 図形の挿入

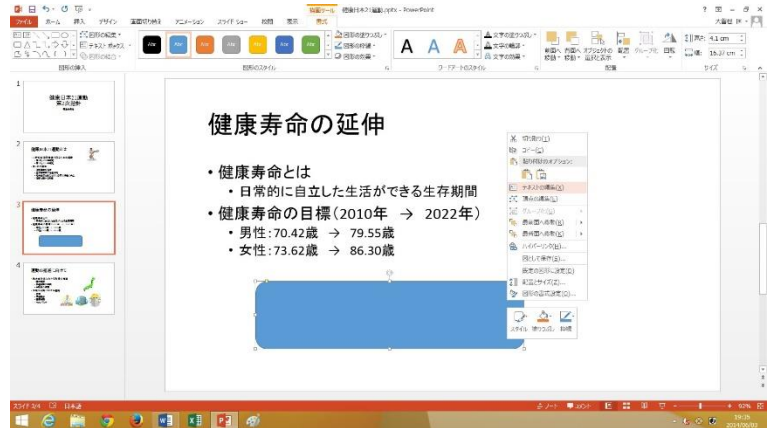


図10 角丸四角形の描画

- (4) 強調したいテキストを入力します。ここでは、「男性：9.13 歳延伸」と「女性：12.68 歳延伸」というテキストを入力し、フォントサイズも大きくしてみよう。
- (5) 最終的に、図 11 のようなスライドを作成しよう。



図 11 スライドの完成図

### 3 スライドショーの実行

作成したスライドを実演する手順を示します。

- (1) 図 12 の「スライドショー」タブの「スライドショー開始」グループの **最初から** ボタンをクリックします。
- (2) キーボードの Enter キーを押すか、マウスをクリックするごとに、1 スライドずつ進みます。



図 12 スライドショーの実行

## 4 アニメーション効果の設定

スライド上のオブジェクトにアニメーション効果を設定することにより、動きのある表現が可能となります。この効果により情報を聞き手に少しずつ提供することができます。しかし、アニメーション効果をつけすぎると聞き手にとってうるさく感じる場合があるので、アニメーション効果のつけすぎには注意しましょう。

アニメーション効果のつける手順は以下の通りです。スライドの第2スライドにアニメーション効果をつけてみましょう。



- (1) 「アニメーション」タブの「アニメーション詳細設定」グループの「アニメーション ウィンドウ」ボタンをクリックし、アニメーション ウィンドウをスライドの右側に表示させます。
- (2) アニメーションの対象であるテキストを選択し、効果の種類のひとつである「スライドイン」を選択します。その後、「効果のオプション」ボタンを使って、方向を適宜設定します（図 13）。

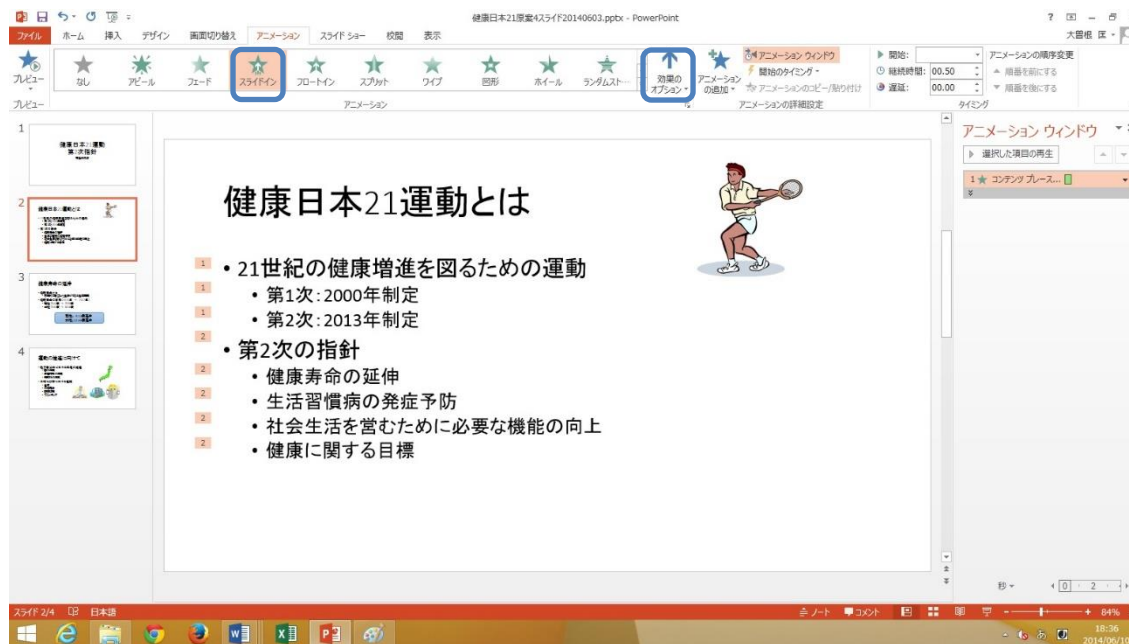


図 13 アニメーション効果の設定

- (3) 次に、アニメーションの対象とする画像を選択し、図 14 のように、**アニメーションスタイル** ボタンの▼ ボタンをクリックし、「その他の開始効果」メニューを選択します。
- (4) すると、図 15 のように「開始効果の変更」ダイアログボックスが表示されるので、その中から好きなアニメーション効果を選択します。
- (5) アニメーション効果の順番は、右側のアニメーションウィンドウを使用して変更できます。

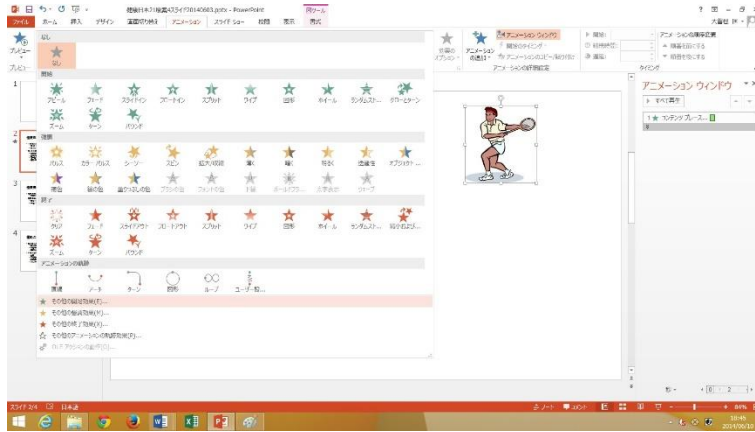


図 14 アニメーション効果の選択

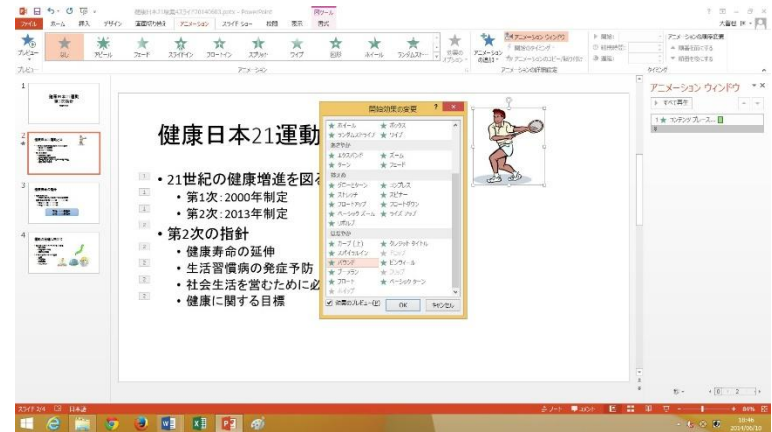


図 15 開始効果の変更

## 5 表示方法

PowerPoint の表示方法として、図 13 のような標準表示の他に、図 16 に示すスライド一覧表示や図 17 に示す閲覧表示などの表示方法が用意されています。これらの表示方法の切り替えは、ウィンドウの右下のズームスライダ脇に配置されている表示選択用のボタン（図 18）を用います。

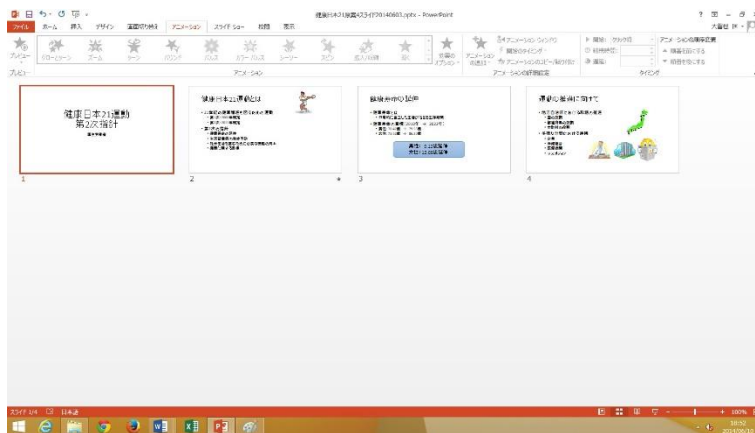


図 16 スライド一覧表示

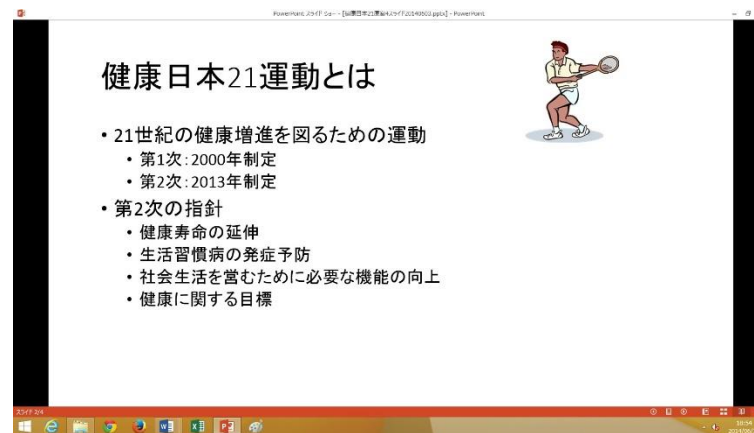


図 17 閲覧表示



図 18 表示選択ボタン

## 6 編集方法

スライドの複写や移動, 削除などの編集作業は, 左側作業領域のスライド画面を操作することにより行います.

### ■スライドの複写

- (1) 複写したいスライドを選択します.
- (2) 「ホーム」タブの **コピー** ボタンなどを押して, コピーします.
- (3) 複写先としてマウスでスライドとスライドの間を指定します.
- (4) 「ホーム」タブの **貼り付け** ボタンなどを押して, 貼り付けます.

### ■スライドの移動

- (1) 移動したいスライドを選択します.
- (2) 移動したいところへドラッグしてからドロップします.

### ■スライドの削除

- (1) 削除したいスライドを選択します.
- (2) キーボードの **Delete** キーを押します.

## 7 印刷方法

- (1) 「ファイル」タブから「印刷」メニューを選択します。
- (2) 設定メニューから「配布資料4スライド（横）」と印刷の方向として「横方向」を選択します。「配布資料」の場合は、1ページ当たり1,2,3,4,6,9スライドの印刷を選択できます。
- (3) プレビューで確認したら、「印刷」ボタンを押します。

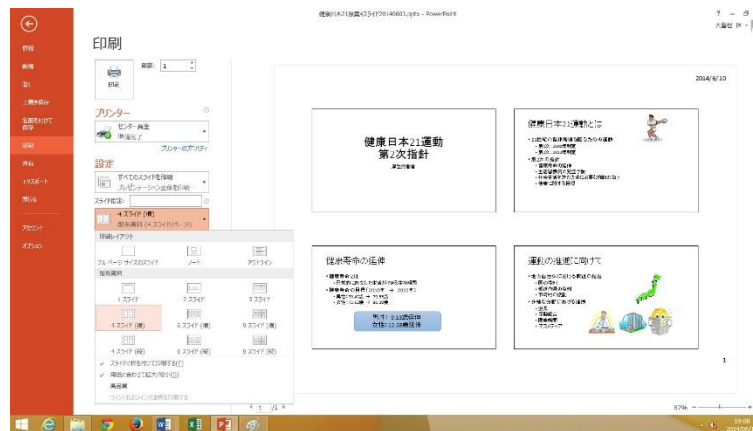


図 19 印刷方法

## 8 表の挿入

2.1 の題材コンテンツの (4)「生活習慣病に関する目標」を、表を使って図 20 のように表現してみよう。

生活習慣病に関する目標					
種類	項目	現状 (2010年)		目標 (2022年)	
がん	75歳未満の死亡率 (10万人あたり)	84.3人 (2010年)		73.9人 (2015年)	
循環器疾患	脳血管疾患の死亡率 (10万人あたり)	男性	49.5人	男性	41.6人
		女性	26.9人	女性	24.7人
糖尿病	発症数	16,247人		15,000人	

図 20 表の作成

- (1) 3 スライドと 4 スライドの間に新しいスライドを挿入します。レイアウトの種類は タイトルとコンテンツ を選択します。
- (2) スライドの中央にある 6 つのアイコン群から図 21 の表の挿入アイコンをクリックします。
- (3) すると、図 22 のダイアログボックスから列数と行数を入力します。ここでは、4 列 4 行の表にします。



図 21 表の挿入アイコン

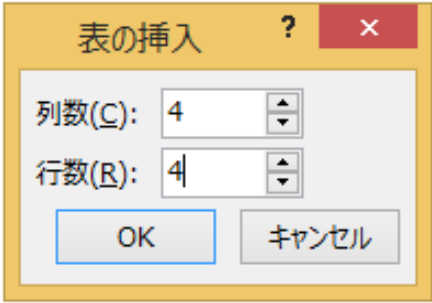


図 22 列数と行数の入力

(4) 図 23 のような表のスライドが出現するので、そのセルの中に図 24 のようにコンテンツを入力します。



図 23 表スライドの初期画面

Figure 24 shows the content input for the table. The title box contains the text "生活習慣病に関する目標" (Goals for Lifestyle Diseases). Below the title box is a table with 4 columns: "種類" (Type), "項目" (Item), "現状" (Current Status), and "目標" (Target). The data is as follows:

種類	項目	現状	目標
がん	75歳未満の死亡率 (10万人あたり)	84.3人 (2010年)	73.9人 (2015年)
循環器疾患	脳血管疾患の死亡率 (10万人あたり)		
糖尿病	発症数	16,247人	15,000人

図 24 表のコンテンツの入力



- (5) 3行3列のセルと3行4列のセルをそれぞれ1列2行に分割します。そのために、表ツールの「レイアウト」タブを選択し、**セルの分割** をクリックします。そして、「セルの分割」ウィンドウに列数として1、行数として2を入力します（図25）。
- (6) すると、セルが分割されるので、図2.1のようにコンテンツを入力します。
- (7) 適宜、縦罫線を移動させ、各セルの幅を調整します。

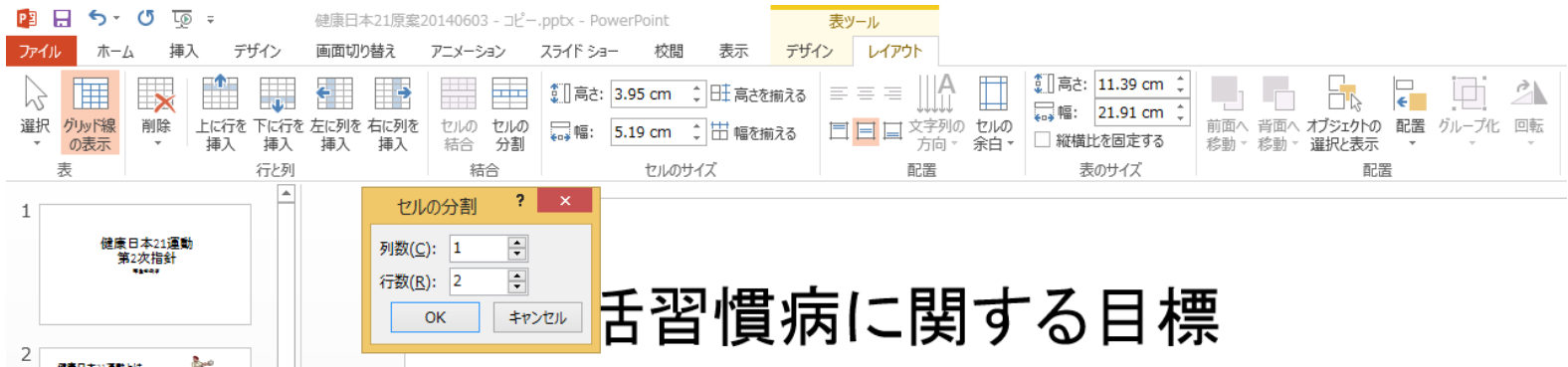


図25 セルの分割

## 9 SmartArt の挿入

2.1 の題材コンテンツの (5) 「社会生活を営むために必要な機能の向上」を、SmartArt を使って図 26 のスライドのように表現してみよう。

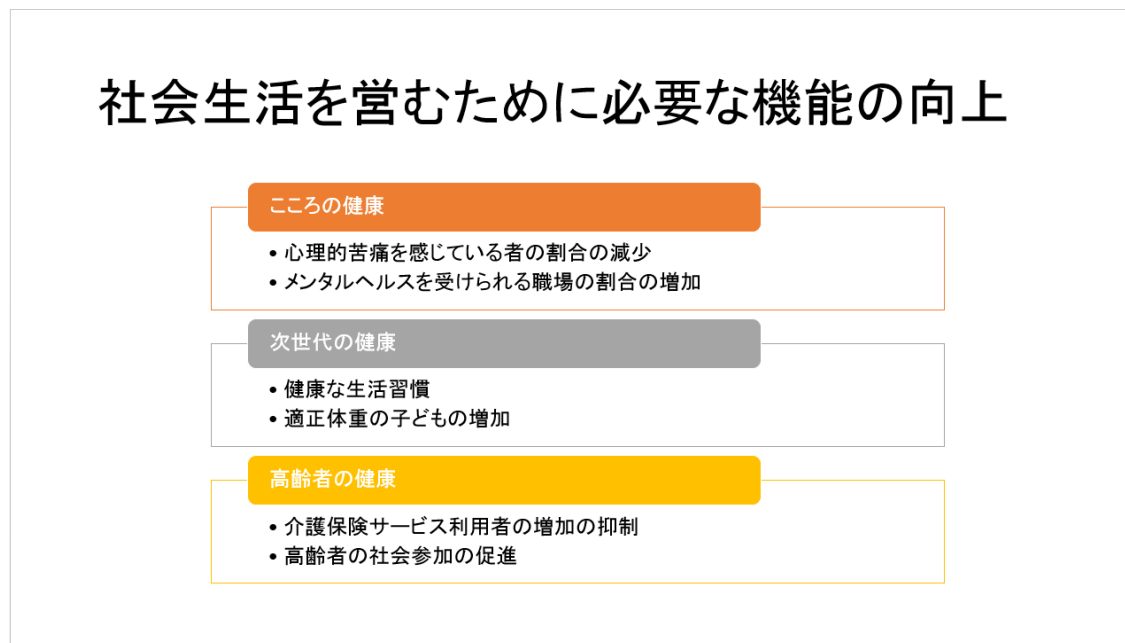


図 26 SmartArt の作成

- (1) 4 スライドと 5 スライドの間に新しいスライドを挿入します。レイアウトの種類は タイトルとコンテンツ を選択します。
- (2) スライドの中央にある図 21 の 6 つのアイコン群から SmartArt の挿入アイコンをクリックします。
- (3) すると、図 27 のような SmartArt グラフィック選択画面が出現するので、リストの「縦方向リスト」を選択します。
- (4) そして、図 26 のようになるよう、適宜、図 28 の画面からテキストコンテンツを入力します。その際、Tab キーを使用して、箇条書きのレベルを上げ下げします。
- (5) 最後に、「色の変更」ボタンを押して、色を変更します。

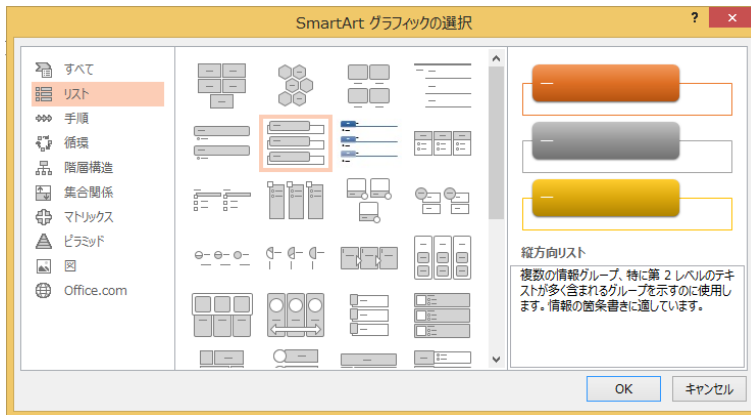


図 27 SmartArt グラフィックの選択画面

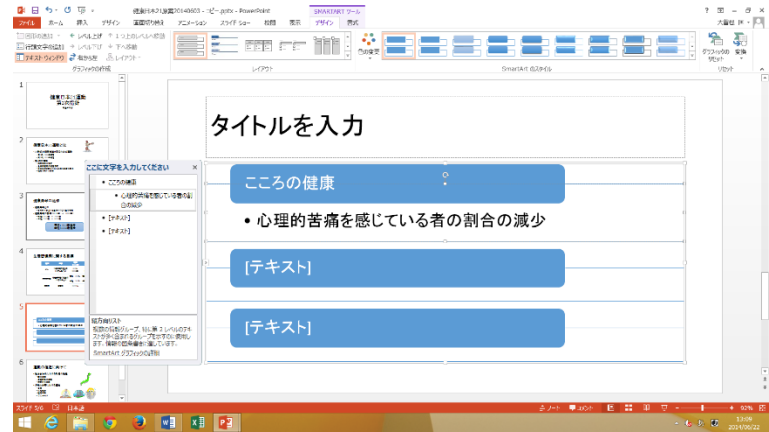


図 28 SmartArt グラフィックへのテキスト入力

## 10 グラフの挿入

2.1 の題材コンテンツの (6)「受動喫煙に関する目標」を、グラフを使って図 29 のスライドのように表現してみよう。

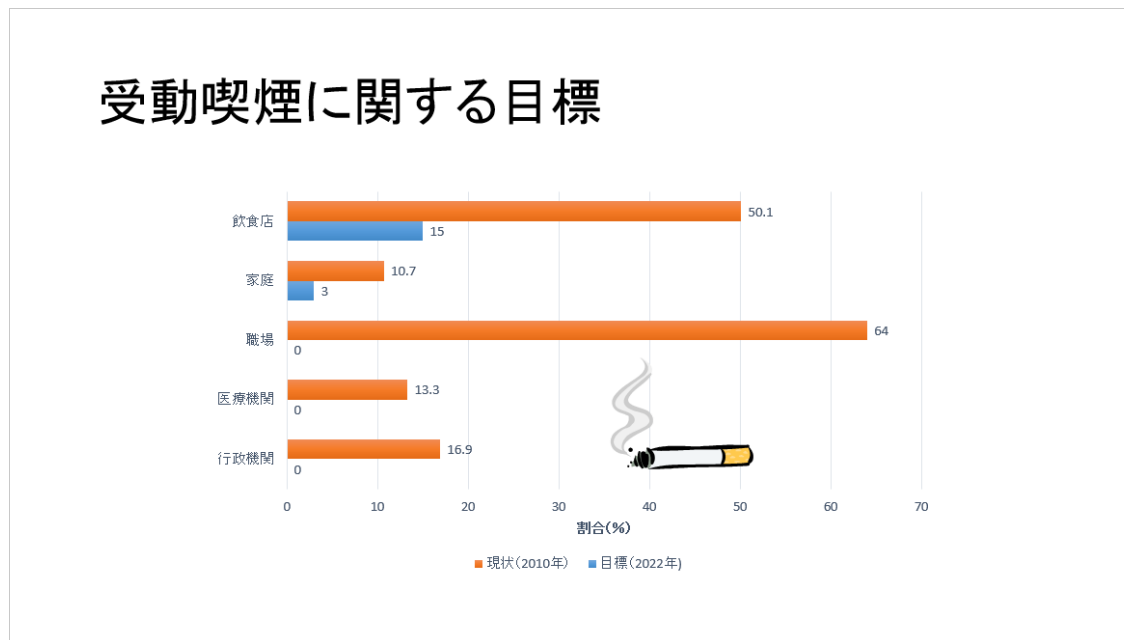


図 29 グラフスライド

- (1) 5 スライドと 6 スライドの間に新しいスライドを挿入します。レイアウトの種類は タイトルとコンテンツ を選択します。
- (2) スライドの中央にある図 21 の 6 つのアイコン群からグラフの挿入アイコンをクリックします。
- (3) 図 30 のようなグラフの挿入画面が出現するので、「横棒」の「集合横棒グラフ」を選択します。

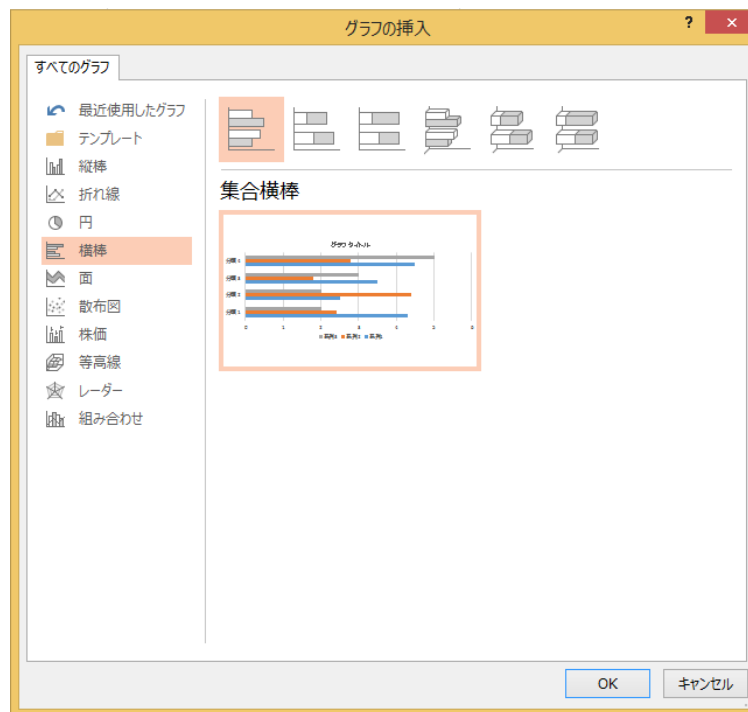


図 30 グラフの挿入画面

(4) すると、図 31 のように、PowerPoint と連動した Excel 形式のシートが出現するので、そこにデータを入力します。ここでは、図 32 のようにデータを入力してみよう。

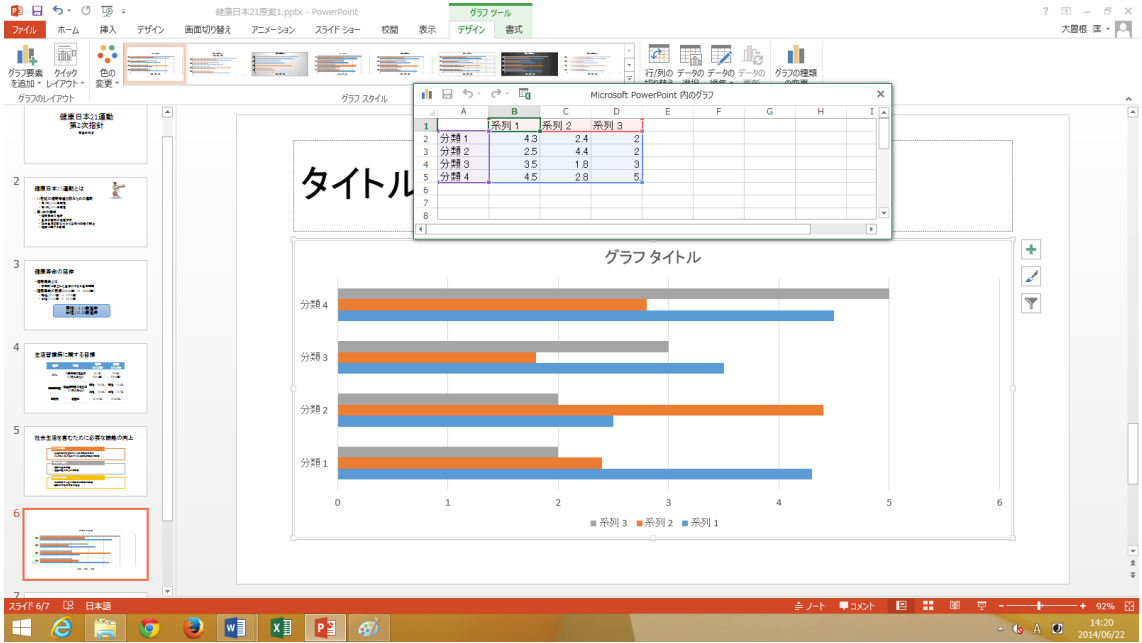
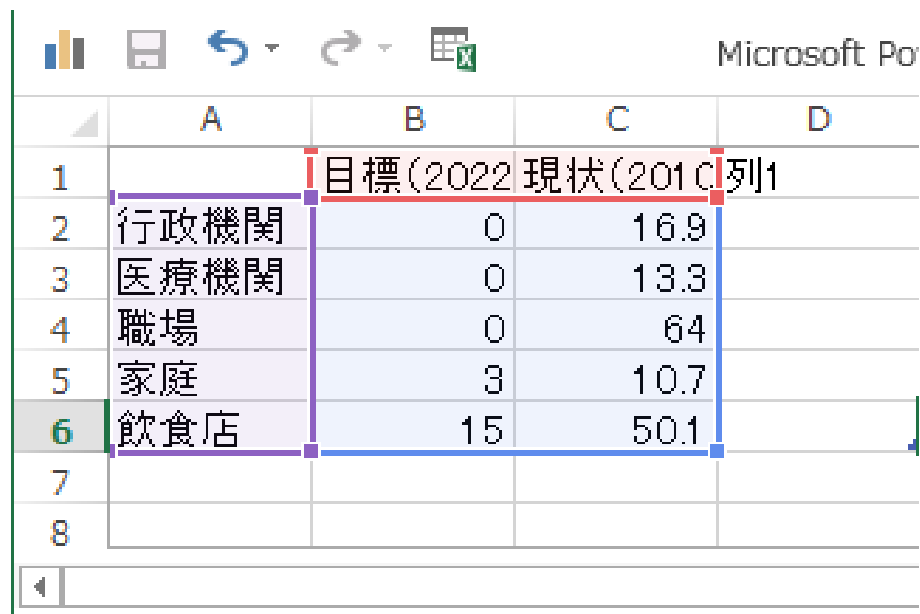


図 31 グラフスライドと連動した Excel 形式入力シート



The image shows a screenshot of a Microsoft PowerPoint slide. At the top, there is a toolbar with icons for chart, save, undo, redo, and insert. The text 'Microsoft Po' is visible in the top right corner. Below the toolbar is an Excel spreadsheet with the following data:

	A	B	C	D
1		目標(2022)	現状(2010)	列1
2	行政機関	0	16.9	
3	医療機関	0	13.3	
4	職場	0	64	
5	家庭	3	10.7	
6	飲食店	15	50.1	
7				
8				

図 32 Excel シートにデータの入力

- (5) Excel 形式のシートにデータを入力する毎に、PowerPoint のグラフが変化していきます。データ入力後、Excel と同様な操作で、データ要素の詳細設定を行い、デザインのスタイルとして「スタイル 5」を選択すると、図 33 のようなスライドができます。
- (6) このスライド上に「たばこ」を検索キーワードとするオンライン画像を挿入して、図 29 のようなスライドを完成させます。

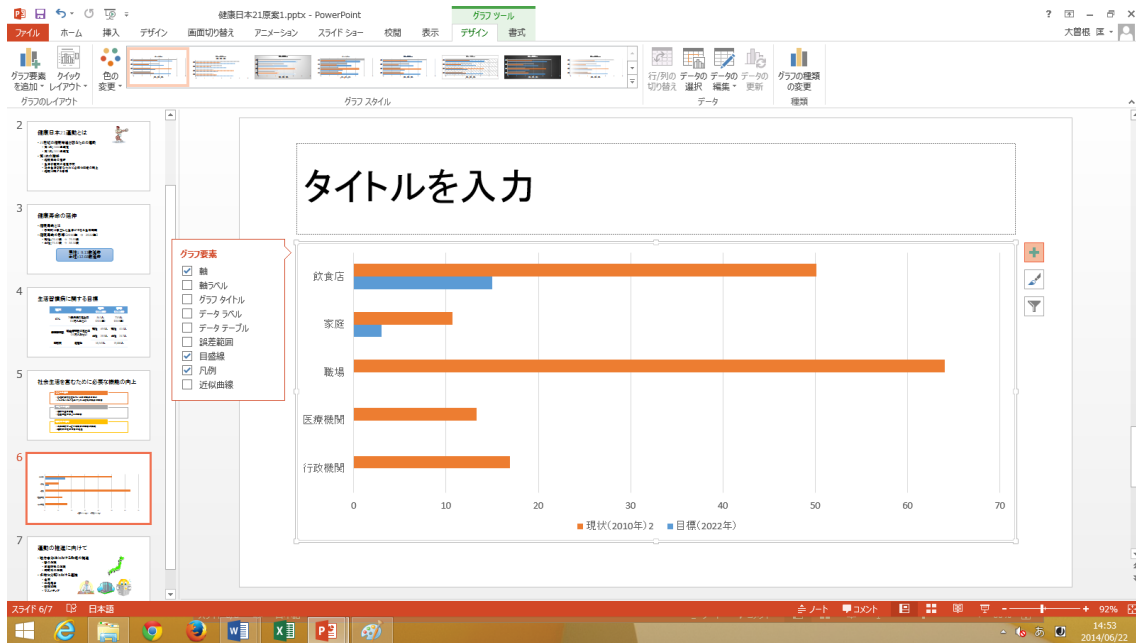


図 33 データ要素の詳細設定



## 11 2つのコンテンツのレイアウトの使用

2.1の題材コンテンツの(7)「飲酒に関する目標」を、「2つのコンテンツ」のレイアウトを使って表現してみよう。左側は「箇条書き」、右側は「グラフ」とし、図34のスライドのように表現してみよう。

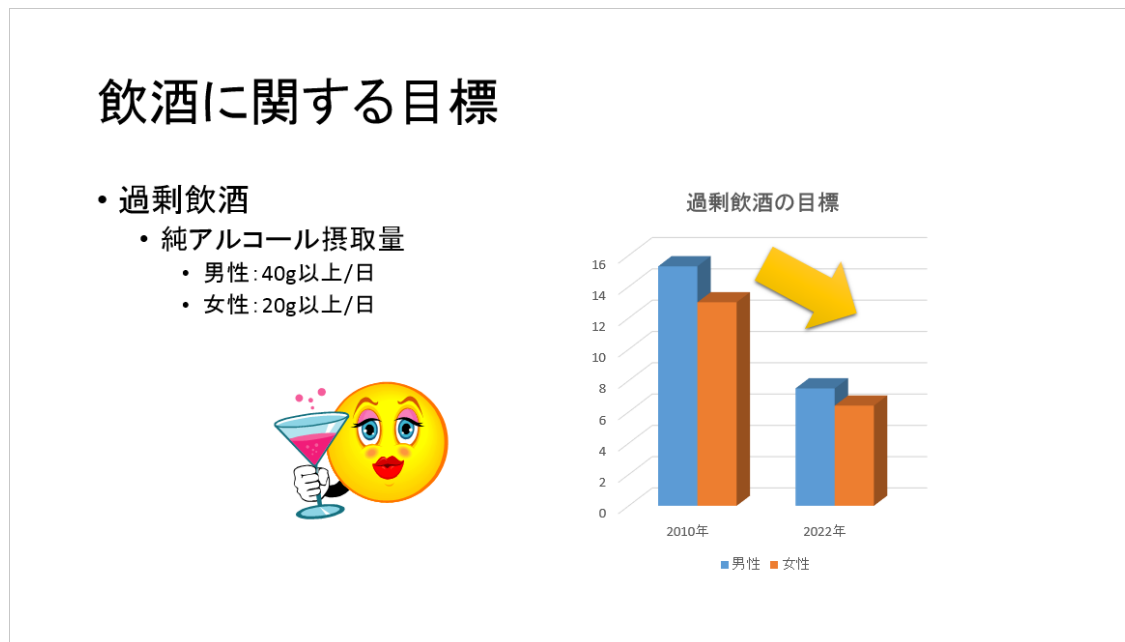


図34 2つのコンテンツを使用したスライド

(1) 6 スライドと 7 スライドの間に新しいスライドを挿入します。レイアウトの種類を **2つのコンテンツ** を選択します (図 35)。

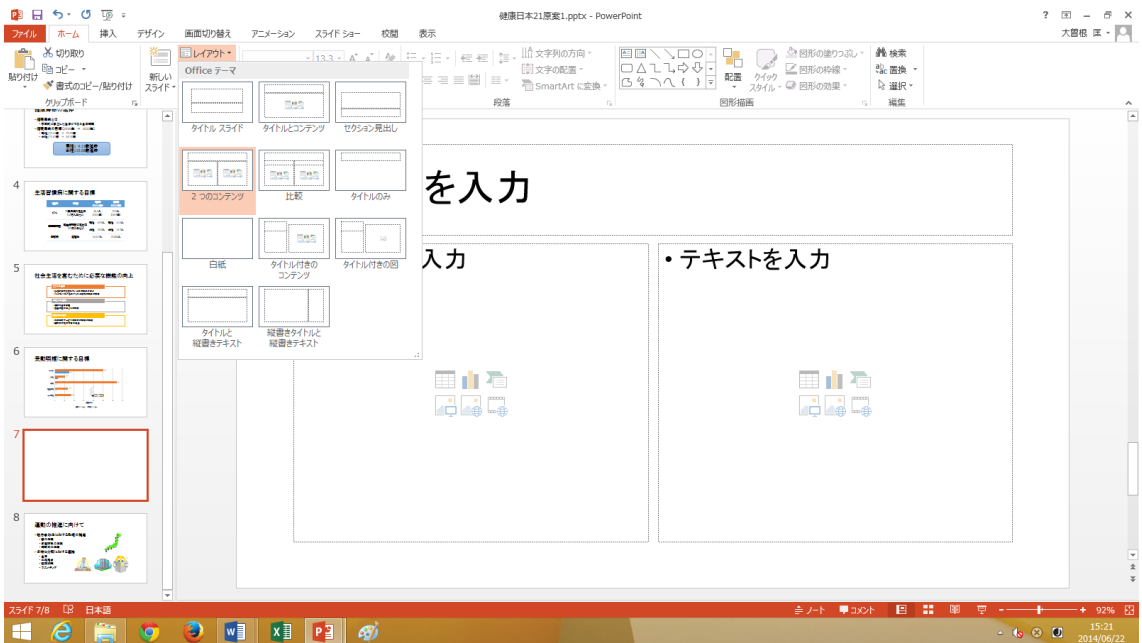


図 35 2つのコンテンツのレイアウトの選択

- (2) 左側のコンテンツは箇条書きとし，図 34 の左側のテキストを入力し，適当なオンライン画像を挿入します。
- (3) 右側のコンテンツはグラフとし，「縦棒」の「3D 集合縦棒グラフ」を選択します。
- (4) すると，図 36 のような Excel 形式のシートが出現するので，そこにデータを入力後，「図形」の「ブロック矢印」を挿入し，過剰飲酒を減少させることを強調します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1		男性	女性	列1					
2	2010年	15.3	13						
3	2022年	7.5	6.4						
4									
5									
6									
7									
8									

飲酒に関する目標

- 過剰飲酒
  - 純アルコール摂取量
    - 男性: 40g以上/日
    - 女性: 20g以上/日

過剰飲酒の目標

年	男性	女性
2010年	15.3	13
2022年	7.5	6.4

図 36 3D 縦棒グラフのデータ入力

## 12 リハーサル機能

リハーサル機能を用いると、各スライドの所要時間を計測し記録されるので、発表練習をする際に役に立ちます。リハーサル機能を行う手順は以下の通りです。

(1) 図 37 の「スライドショー」タブの「リハーサル」ボタンを選択します。

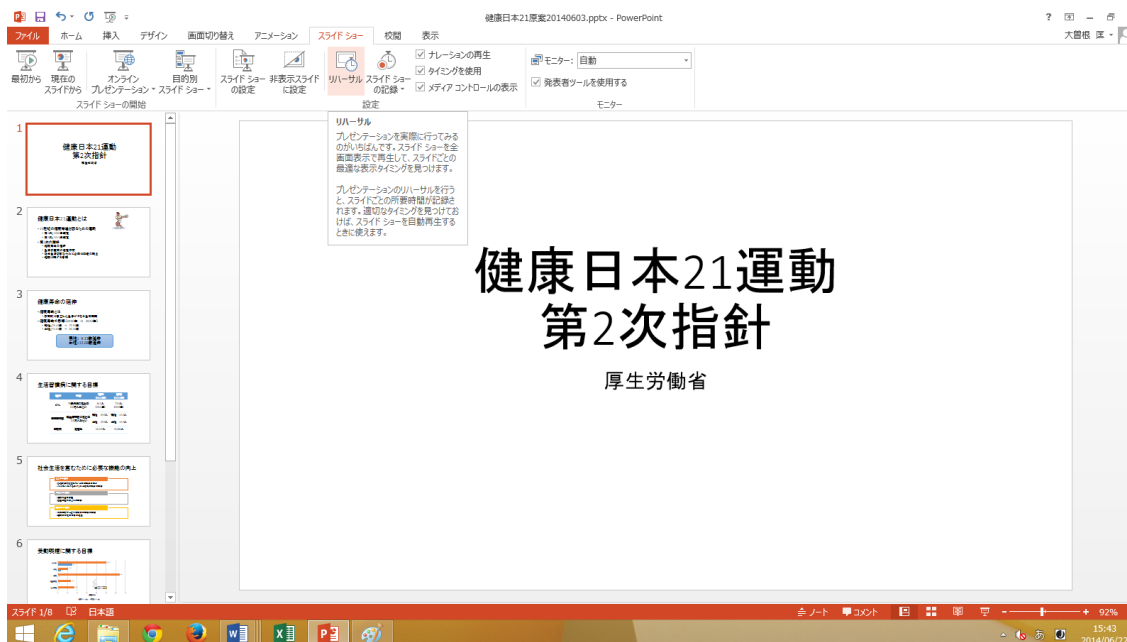


図 37 リハーサルの設定画面

- (2) スライドショーが実行され、画面上に図 38 のようなリハーサルウィンドウが表示され、そこには経過時間が表示されます。

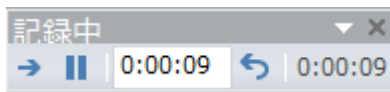


図 38 経過時間の表示

- (3) Enter キーを押すか、マウスをクリックし、リハーサルを進めていきます。
- (4) 最後のスライドが終わると、図 39 のような全体の所要時間を表示したウィンドウが表示されます。ここで、「はい」ボタンをクリックすると、画面一覧表示に切り替わり、各スライドの経過時間が各画面の下に表示されます。

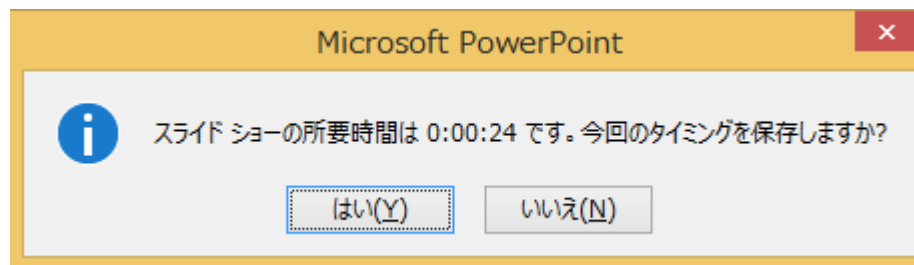


図 39 タイミングの記録

- (5) リハーサル終了後は、「スライドショー」タブの「タイミングを使用」のチェックをはずしておくのがよいだろう。なぜなら、タイミングを保持しておくとし、次のスライドショーを行ったときに、そのタイミングで自動的に進んでしまうからです。